

二〇一六年六月刊行

パウエル・
フランクル

ゴシックとは何か

黒岩俊介 訳

— 八世紀にわたる
西欧の自問 —

中央公論美術出版

八〇〇年にわたるゴシック観の思想史の見事な包括的考察

飯田喜四郎（名古屋大学名誉教授）

パウル・フランクル（一八七八―一九六二）はプラハ在住のユダヤ人旧家の出身で、ミュンヘン大学で博士号を取得した（一九一〇）。一九二二〜二四年にヨーロッパ美術史の創設者の一人であるH・ヴェルフリンに師事し、ルネサンス建築の研究により大学教授資格を授与され、ハレ・ヴィテンブルク大学美術史教授に任命された（一九二二）。

しかし、フランクルはナチスにより一九三三年にハレ大学を追放されてアメリカ合衆国へ渡り、プリンストン大学研究所に採用された。フランクルは十二世紀から二十世紀に到るゴシック研究にとり組み、一九六〇年に刊行されたのが本書で、ゴシック観の思想史的研究の基本的文献である。なお、本書は第二次大戦後、最初に刊行された『ペリカン美術史叢書』のフランクル著『ゴシック建築大成』（一九六二）〈同社既刊〉の姉妹編である。

本書においては、このヨーロッパにおける独自の芸術的・文化史的現象を対象に、ゴシックの淵源ともいえる十二世紀のシュジエールのサン・ドニ修道院献堂の際の言説から二十世紀まで、八〇〇年にわたる西欧におけるゴシックに関する文献を蒐集・考察し、ヨーロッパ全般の芸術史・思想史的体系に根本的な影響を与えつづけたゴシックという現象を考究した記念碑的な大傑作であるとともに、「ゴシック様式に関する最も包括的な基本文献」（N・ペヴスナー）であるが故に学界にとって必備の書となろう。

【本書の特質】

本書は一九六〇年にプリンストン大学出版局から刊行された原題 *Paul Frankl, The Gothic-Literary Sources and Interpretations through Eight Centuries* の全訳である。

本訳業は約二〇年まえに開始され、姉妹編の『ゴシック建築大成』（*Gothic Architecture*）とほぼ相前後して小社より双方とも刊行されることになった。ゴシック建築の基本書としては、フォン・ジムソンとパノフスキの他社刊行の邦訳がすでにあるが、ここにゼーデルマイヤ（『大聖堂の生成』）とヤンツェン（『ゴシックの芸術』いずれも小社刊）、それにこの度のフランクルの二著の刊行によって、ヨーロッパにおける独自の芸術的現象であるゴシック関連の基本的学術情報の開示はほぼ完了することになった。訳者二〇年の学術的配慮は、関連する諸文献の渉獵・調査と、原書では不十分な「詳細索引」を完備して、このゴシックの大海ともいえるべき文献のレファレンスを容易にする、それ自体が事典的機能を備えた一〇〇ページ余に及ぶ膨大な項目を網羅したことにある。

この包括的一次資料の収集と文献批判を満載した大著が、わが国斯学の学術的方面の大きな参照と裨益に資すること大なるを期待するものである。

本書には、ゴシックに関してもその基本原理にかかわる批評や注釈が集められています。本書は文献目録ではありませんし、個々の建物にかかわる歴史データ集でもありません。本書が問題としたのは、シュジェール以来、一つの総体としてのゴシック現象について、何が考えられてきたのか、何が書かれたかということです。

（著者「まえがき」より）

本書の構成は以下のようになっています。

- 第一章は、ゴシック時代に生きた人びとが残した歴史的資料について
- 第二章は、ゴシック時代以後から十八世紀までの後代の人びとのゴシックについて
- 第三章は、ロマン主義者によるゴシックの再発見について
- 第四章は、学問的なゴシック研究の開始について
- 第五章は、芸術論の中でのゴシック問題について
- 第六章は、二十世紀に入ってから様々なゴシック研究について
- 第七章は、ゴシックの本質に関する研究の現状について

〔記者あとがき〕より抜粋

まえがき
第二刷のためのまえがき
口絵・挿図目録

第一章 ゴシック時代の資料

- 一 サン・ドニ修道院長シュジェール
- 二 カンタベリーのジャーヴァス
- 三 ヴィラル・ド・オヌクールとマギステル三
- 四 マギステル二とロジジ秘伝
- 五 ブルハルト・フォン・ハルの年代記
- 六 シャルトル、ミラノ、ヘロナの専門評価
- 七 中世における建築論と美学
- 八 石工ギルドと石大工ロジジ
- 九 中世詩人の建築幻想
- 一〇 ゴシック時代の文化

第二章 ゴシックに対する反抗期

- 一 初期人文主義
- 二 初期ルネサンスの判断
- 三 盛期ルネサンスの態度
- 四 フランス、イタリア、スペイン（一五三〇～一六〇〇）
- 五 十六世紀ドイツ
- 六 十七世紀ドイツ
- 七 十七世紀フランス、イタリア、スペイン
- 八 十七世紀イギリス
- 九 十八世紀の通俗的見解
- 一〇 十八世紀の本格的判断

第三章 ゴシックにむかう転換期

- 一 若きゲーテ
- 二 ピクチャレスクという語
- 三 ピクチャレスク概念
- 四 無限なものという概念
- 五 ドイツにおけるロマン主義
- 六 イギリス、フランス、ロシアのロマン主義

第四章 科学的傾向

- 一 形態学的・部材論的研究の始まり
- 二 本質的部材の発見とゴシックの起源
- 三 最初の大総合
- 四 イギリスにおける教化的美学
―ゴシック・リヴァイヴァル
- 五 フランスにおける合理化
- 六 ドイツにおける形式と内容に関する観念論的美学
- 七 実証主義的動向

第五章 科学的学問としての芸術研究

- 一 眼のための芸術
- 二 ゴシックの「芸術意志」についてのリーゲル説

第六章 問題の枝分れ

- 一 後期ゴシックの認知
- 二 新ロマン主義
- 三 ゴシック技術説
- 四 印象主義
- 五 「ゴシック人」
- 六 民族現象としてのゴシック
- 七 社会主義とゴシック
- 八 思想史にむかう傾向
- 九 リズム、比例、調和の研究
- 一〇 現代の逸脱

第七章 本質的原理の追究

- 一 壁の構造にかかわる理論
- 二 様式的対極性
- 三 リブに関連する問題
- 四 交差リブヴォールトの美的・様式的機能
- 五 ゴシックの本質

補遺／口絵（巻末図版）／記者あとがき／索引

ゴシックとは何か —八世紀にわたる西欧の自問—

パウル・フランクル 著 黒岩俊介 訳

本体価格48,000円＋税

B5判上製函入 本文1030頁 口絵32頁 挿図4点 ISBN 978-4-8055-0761-2 C3070

著者紹介

パウル・フランクル (Paul Frankl: 1878-1962)

ドイツの美術史学者。一八七八年、プラハの著作家・学者の家系でユダヤ人の旧家に生まれる。はじめ建築を学ぶが、一九一〇年にミュンヘン大学にて、南ドイツのステンドグラスに関する研究で博士号を取得。ハインリッヒ・ヴェルフリンに師事し、一九二一年にハレ・ヴァイテンブルグ大学美術史教授に就任、理論的関心を中世建築に応用し始める。一九三三年米國に亡命。業績は芸術哲学の領域にも及び、様式概念の検討や芸術学の体系化を試みた。

著書「十五世紀のバイエルンとシュヴァーベン地方におけるステンドグラス」(一九二二)、「芸術学の体系」(一九三八)、「ゴシックとは何か」(一九六〇)、「ゴシック建築大成」(一九六二)等。

訳者紹介

黒岩俊介 (くろいわ しゅんすけ)

一九五二年福岡市生まれ。一九七二〜七四年フランス留学。会社勤務後、一九九〇年九州大学工学研究科建築学専攻修士。西南女学院短期大学助教授を経て、二〇一一年まで広島工業大学環境学部環境デザイン学科教授。

著書に『聖堂の現象学』ブルーストの「失われた時を求めて」にみる(中央公論美術出版、二〇〇六年)。訳書にハンス・ゼーデルマイヤ『大聖堂の生成』(共訳、中央公論美術出版、一九九五年)、ルイ・グロテスキ『ゴシック建築』(共訳、本の友社、一九九七年)、ジャック・リュカン監修『ル・コルビュジエ事典』(共訳、中央公論美術出版、二〇〇七年)など。

本書をお薦めする方々

西洋思想史、西洋建築史、西洋美術史研究者・研究室／博物館・美術館・学芸員／キリスト教関係者／大学・公共図書館など

関連書籍

ゴシック建築大成

本体価格 58,000 円＋税

パウル・フランクル 著 ポール・クロスリー 校訂
佐藤達生・辻本敬子・飯田喜四郎 訳

フランクル(1878~1962)は、美術史家ヴェルフリンの高弟であり、本書はその様式理論を450年にわたる全ヨーロッパのゴシック建築に適用し、総合的な理論の構築を体系化した、数あるゴシック研究において並ぶものがない労作である。校訂者クロスリーの15年に及ぶ詳細を極めた注釈・解説付き決定版。

B5判上製函入 本文796頁 口絵8頁 挿図336点 ISBN 978-4-8055-0661-5 C3052 2011年9月

ゴシック様式成立史論

本体価格 14,000 円＋税

加藤耕一 著

ゴシック様式の黎明期に焦点を絞り「構築術的空間論」と名付けた方法論でゴシックという建築様式の始まりを再定義し、その成立を明らかにする。この方法論は、建築の構法に着目した具体的な建築空間論であり、重要で独創的な視点をもつ極めて先駆的な研究として西洋建築史学に新たな方向を提示する。

A5判上製函入 本文336頁 挿図212点 ISBN 978-4-8055-0689-9 C3052 2012年11月

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1
IVYビル6F

TEL 03-5577-4797 FAX 03-5577-4798

お取り扱いは